

国営讃岐まんのう公園管理運営ビジョン検討委員会

(第3回)

＜議事要旨＞

■開催日時：令和7年1月22日（水）10時00分～12時00分

■会場：高松市サンポート合同庁舎北館13階会議室（高松市サンポート3-33）

■主な意見：

1. 説明事項・審議事項

（1）説明事項・審議事項①国営讃岐まんのう公園マネジメントビジョン2050（案）

【全体構成について】

- ・現在の構成や表題では、初めて読んだ人がビジョンの核がどこに記載されているか分かりづらいため、明確に発信した方が良い。また、“ビジョン”、“コンセプト”、“将来像”という言葉が混在している。“将来像”という言葉は、全て“ビジョン”に置き換えると良いのでは。
- ・読んだ人が理解しやすいように、策定に至った背景の部分と、p.28 以降のビジョンの中身そのものを明確に区分すべきである。

【コンセプトについて】

- ・「③案“まんのう”の自然や空海の歴史とともに、ヒト・地域の活力を未来につなぐ公園」の後半は表現が良いと思うが、満濃池は中世に大決壊しており江戸時代に再築造された歴史もあるため、空海だけの功績とは言い難く、様々な人々の努力や情熱が生み出したものだと考える。
- ・③案の後半の表現は非常に良いが、前半がやや長いと思う。現況では園内で空海を感じる箇所も少ないため、あまり空海の歴史に特定する必要はないと考える。
- ・観光の観点で、この公園を何といえば観光客に気付いてもらえるかを考えた際に、全国的な知名度が低い“まんのう”よりは、日本人なら誰でも知っている“空海”という言葉を入れた方が良いのではないか。
- ・今後、新たな動きを取り入れていくのであれば、地元としては、“空海”という言葉が入った当初の基本理念にこだわる必要はないと考える。
- ・コンセプトに“空海”のワードを入れるのであれば、取組方針等のページに関連した記載を入れると良い。
- ・利用者に対して、将来に向けての関係者の意図がもう少し幅広く捉えてもらえるような前向きな表現になるよう、再考すること。

【内容について】

- ・コンセプトを踏まえた取組方針について、“残す”という言葉に違和感がある。自然環境を考えると“守る”という観点が抜けているため、“残す”よりは“守る”や“繋ぐ”という表現の方が良い。“変える”は“活かす”にも含まれると思う。もう少し前向きな言葉を

再考すること。

- ・「取組方針と各ゾーンの対応(p.31)」において、取組方針の3つの観点と各ゾーンの対応が横並びに見えててしまうため、誤解を生まないような表現に改めるべきである。
- ・AIにより生成されたCG画像と実際の写真が混在しているため、個々の画像・写真にCG画像か写真かが分かる記号を付けるなど、区分けを明確に記載すべきである。
- ・各ゾーンの取組イメージが示されたページ下部の注釈には、“掲載画像は、あくまでイメージである”旨を追記すべきである。
- ・「宿泊ゾーンの取組イメージ(p.39)」で“焚火の体験”的記載があるが、現況として宿泊ゾーンで火起こしはできないため、表現を改めること。
- ・「満濃池周辺との連携イメージ(p.49)」において、中央に記載している3つの言葉は連携のイメージを示すメッセージのため、表現を強調すべきである。
- ・「香川県及びまんのう町との連携イメージ(p.50)」において、知名度向上は情報発信の先にあるものため、“観光客誘致”の中に“情報発信”を入れる表現に改めると良い。
- ・各ゾーンの取組イメージや県・町との連携における”イメージ”という言葉は非常に曖昧な表現のため、確定した取組であるというミスリードを避けつつも、主体的な表現に改めると印象が良くなると思う。
- ・当公園のような地元に根ざした公園では地元連携が非常に重要であり、ビジョンに記載することで、今後、国、管理運営事業者、県、町等で地域活性化、地元連携を進める一助になればと考えている。また“イメージ”はより分かりやすい表現に変えるべきと考える。
- ・県管理の対岸の満濃池森林公園では、まんのう公園やまんのう町とは既に連携に向けた協議の場を設けており、満濃池という資源をそれぞれの施設への連携につなげるための取組を進めていきたい。
- ・「回遊利用イメージ④(p.48)」において、外国人旅行者が高松空港への直行便で高松に到着し、1日目に直島に訪れるのは難しいため、再考いただきたい。また、仏生山温泉とまんのう公園の周遊に際し、“周遊きっぷ”という表現が正しいか確認してもらいたい。

■今後の進め方 :

- ・マネジメントビジョン案は、上記のご意見を踏まえ各委員へ共有させていただく。
- ・会議後、委員の合意を得たうえで、パブリックコメントに付する。(2月中旬～3月中旬)
- ・パブリックコメント結果等を踏まえ座長と相談しながら検討を進め、最終版を各委員へ共有させていただく。(事務局)

以上